

9月23日は 「手話言語の国際デー」 & 「手話の日」



🌐 手話言語の国際デー（9/23）

「手話言語が音声言語と対等である」ことを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう意識を高める日として、**2017年に国連総会で決議**されました。由来は**1951年9月23日**の世界ろう連盟（WFD）設立。

🌐 ブルーライトアップ

WFDの呼びかけで、国連・WFDロゴカラーの**青色（#007EC4）**で世界各地のランドマークをライトアップ。「世界平和」「手話言語・ろう者の人権の尊重」を表します。**昨年度は日本全国862か所**で実施されました。

🏠 手話施策推進法

令和7年（2025年）6月25日施行。手話を「言語・意思疎通の手段」として位置づける法律。普及・保存・継承・理解促進を総合的に推進し、環境整備は国や自治体（東京都など）の責務と明記されました。

📅 日本の「手話の日」（9/23）

左記法律の施行に伴い、国民の間に手話への理解と関心を深める日として、**9月23日が正式に「手話の日」として制定**されました。国際デーと同じ日に、国内でも普及啓発に取り組みます。

👤 国際ろう者週間（9月の最終週）

1958年、イタリア・ローマで始まったWFD主導の国際的な啓発週間。月をまたがない9月の最終月曜～日曜に、ろうコミュニティが各国政府・行政・市民へアピールを行い、日ごとに異なるテーマで手話への理解と関心を呼びかけています。

🎯 2026年度のテーマ

2026 「ろう者人権宣言」（Declaring Deaf People's Human Rights） — 手話が言語であることを社会全体で認め、ろう者の人権が完全に保障される社会を目指します。

🕒 手話の日 歴史年表

- | | |
|-------------------|--|
| 1951.9.23 | 世界ろう連盟（WFD）設立 — 「9月23日」の起源。 |
| 1958.9 | 「国際ろう者週間」開始 — 9月最終週に世界中で啓発活動。 |
| 2017.12.19 | 国連総会で「手話言語の国際デー」決議 — 「手話は音声言語と対等」と明記。 |
| 2018.9.23 | 第1回「手話言語の国際デー」開催 — 以降、毎年世界共通のテーマを設定。 |
| 2022.9.23 | 「ブルーライトアップ」が世界へ拡大 — 日本でも自治体庁舎等の点灯が急拡大。 |
| 2025.6.25 | 日本で「手話施策推進法」施行 — 法律で「9月23日は手話の日」と正式制定。 |

発行：公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟